



や げん 薬 研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を砕いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

春の病院行事を終えて

●健康まつり

今年の健康まつりはワールドカップサッカーの初戦と重なり、参加者の減少が懸念されましたが、地域の皆様や病院のOBの方々の多数のご参加を頂き、盛会裏に終了することが出来ました。

スタンプラリー等の新しい試みも好評で多数の参加を頂きました。今後ともより多くの皆さんが楽しめて、興味を持てるような催し物を考えていきたいと思えます。

今回「高齢者とがん」のテーマでお話する機会を頂き、現在の高齢者のがん治療の状況についての話と、当院外科の紹介をさせて頂きました。たくさんのご参加ありがとうございました。余談ですが、個人的な趣味の話も交え、親しみやすさを考慮したつもりですがいかがだったでしょう。

●スパイラルアップ発表会・医療安全全体研修会

毎年この時期に2つの発表会があり、私をはじめとして、人前で話すのが苦手なスタッフにとっては苦痛の時間だったと思います。しかし、逆に考えて人前で自分の意見を聞いてもらう練習の場だと考えてみて下さい。自分の考えを人に

わかりやすく要点をとらえて説明することは、日々の仕事だけでなく、生活のいろいろな場面で必要とされる能力だと思いませんか。

さて、その内容はどちらも業務改善に係わる話題だったと思います。スタートが不便・クレームなどから発展すると、スパイラルアップとなり、インシデント・アクシデントから始まると医療安全になります。どちらも、各部署から立派な事案とその発表があり、聴く者にとって「どこも頑張っているなあ」と感心する内容ばかりでした。しかし、本当にこれでいいのかな？と思うのはへそ曲がりな副院長だからでしょうか。こんなにどんどん良くなって、キナシ大林病院はすごく良い病院になっていますか？一回の改善策で必ず良くなっているのですか？

来年は本当に良くならない、出来の悪い、苦しんだ改善報告を聴いてみたいものです。



みの むつみ
副院長 美濃 睦水

病 院 の 理 念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支援する病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利



コラム

変わりつつある国家の年金積立金運用

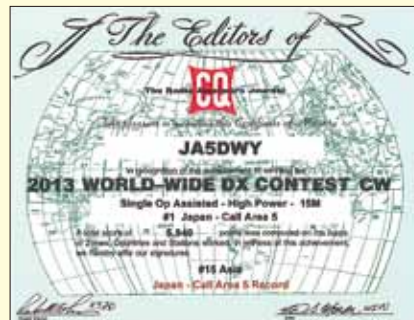
「GPIFによる運用を見守ろう」

きなし まこと
病院長 鬼無 信

昨年末、年金積立金(国民年金、厚生年金)129兆円を運用する公的年金積立管理運用機構独立法人(GPIF)は、アベノミクスと称し、資産運用構成比を、国債から株式重視に変更することにした。GPIFが巨大ヘッジファンド(代替株式投資家)として株式市場介入度を増やす方針である。今もGPIFは100兆円のお原資で日本の株を買い支えている。

この転換は安倍首相が、ロンドンシティ地区ギルドホールで発表した。外国投資家にも、日本株に投資を促し、相乗投資効果で日本国活性化がなされることを期待している。その代わりに彼は、日本企業に昇給を要求した。GPIFが株式主体の年金資金運用に失敗すれば、年金、国家信用や国債の下落を招き、スタグフレーション(給料は上がらない物価上昇)が顕在化する恐れがある。GPIFの成功を期待する。

2013年 ハム世界選手権で 四国1位になりました。



院長(JA5DWY)のアマチュア無線1位賞状

TRIANGLE

～キナシ デキゴトロジー～

キナシ大林病院
すみれ保育所
だより



初夏のさわやかな風が吹くなか、待ちに待った水遊び！
楽しそうな子どもたちの声は、いつまでも消えませんでした。

■キナシ大林病院における様々な出来事に対して、
多面的『角度(ANGLE)』から意欲的に接近しようとする『試み(TRY)』
■病院の立地→「川」「鉄道」「道路」に囲まれた、
「トライアングル(TRIANGLE)地帯」

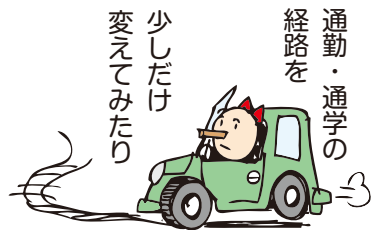
26年度入職式

平成26年度入職式は、4月1日
に行われ看護師・保健師・薬剤
師・臨床工学技士・作業療法
士・医療事務等合わせて12人が
入職しました。

職種も年齢もバラバラですが、
当院の理念のひとつ「患者さん
中心の医療」に基づき頑張っ
てくれることを期待しています。



それゆけ薬研ちゃん ①
—いつもと違う所作— ふき&ゆう



新 職員紹介

①職 種 ②部 署 ③採用日
④出身地 ⑤趣 味



やまもと なつみ
山本 奈津美
①看護師②5階病棟
③4/1④愛媛県
⑤料理



たにもと みき
谷本 美希子
①看護師②5階病棟
③4/16④香川県
⑤スポーツ



しげなり みすず
重成 美鈴
①看護師②外来
③5/1④愛媛県
⑤旅行



たにもと あき
谷本 亜紀子
①看護師②外来
③5/1④香川県
⑤買い物



ちかい あやこ
近井 綾子
①保健師②健診部
③4/1④香川県
⑤カメラ



ひらた かな
平田 加奈子
①准看護師②7階病
棟③4/1④香川県
⑤旅行



ふけ しおり
福家 史織
①准看護師②外来
③4/12④香川県
⑤手話歌



よこやま ちあき
横山 千晶
①看護師②7階病
棟③5/7④香川県
⑤イラスト



たに あき
谷 亜季穂
①看護師②健診部
棟③6/21④香川県
⑤料理本・ブログを見
ること



かまの じゅんじ
金野 純二
①薬剤師②薬剤科
③4/1④香川県
⑤温泉旅行



かわにし とま
川西 智也
①臨床工学技士
②CE科③4/1
④香川県⑤/デミントン



ふくい としみち
福井 翔裕
①臨床工学技士
②CE科③4/1
④香川県⑤映画鑑賞



よしだ しゅんじ
吉田 俊二
①作業療法士②リハ
ビリテーション科
③4/1④香川県
⑤ダーツ



こうだ つくみ
後田 ツクミ
①事務員②健診部
③4/14④香川県
⑤読書



はまもと さとし
濱本 智史
①守衛②施設G
③3/24④香川県
⑤釣り

新医師紹介



泌尿器科
うちだ しんろ
内田 稔大

初めまして。7月より泌尿器科で働か
せていただいています。

病院に通う道すがら、鬼無町のあち
こちできれいな松を見るたびに、やっぱ
り盆栽は見るとやるもんだという思い
が募り、早速家で育ててみようかななど
と考えています。

当院では泌尿器科一般だけでなく、
透析におけるシャント管理など、多くの患者さんに関わる
機会があるかと思います。明るく相談しやすい診療を心
がけておりますので、お困りの方はお気軽にお越しくだ
さい。

退職のご挨拶



泌尿器科医師
ないこう ひろひと
内藤 宏仁

2012年からキナシ大林病院泌尿器
科に赴任して2年たち、6月いっぱい
で退職しました。

未熟者の私ですが、野村先生をはじ
め病院スタッフ、患者さんのおかげでな
んとかやってこれました。まだまだ未熟
ですが、キナシ大林病院で培ったもの
を糧に次の病院でも頑張っていこうと
思っています。

2年間ありがとうございました。末筆ながら皆様のご
健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



キナシ大林病院 健康まつり

健康まつりが、6月15日(日)に行われました。

午前10時の開場に合わせて、地域の方々などが早速、
血圧や体脂肪、検尿などの健康測定を行っていました。

今回は、各コーナーを回って参加するとジュースがもらえる
スタンプラリーもあり、たくさんの方が参加してくださいまし
た。また、医師や薬剤師、栄養士などによる健康相談では、
直接疑問を聞けるとあって、大盛況でした。

2階のリハビリテーション科では、嚥下食の展示や健康
体操があり、スタッフの掛け声に合わせて、ゆったりとした
ペースで体操を行っていました。

また午後1時から、美濃副院長による「高齢者とがん」
の講演があり、スクリーンを使った説明にたくさんの方が熱
心に聞き入っていました。

午後1時50分からは、黒住副院長のピアノコンサートが
あり、自身が作曲した音楽を披露していました。

他にも、OBの方にご協力いただいたバザーや、看護部
による車いすの体験、人間ドックの案内、お子さん向けの
射的や輪投げなどのプレイランドもあり、楽しんでいただけた
ようでした。

暑い中を参加してくださった皆さん、本当にありがとうご
ざいました。



スパイラルアップ発表会 & 医療安全研修会

5月22・29日にスパイラルアップ発表会、6月11・12日に医療安全研修会が行われました。

スパイラルアップ発表会では、各部署がこの一年間に行った業務改善について発表し、医療安全研修会では各部署の安全に対する取り組みが発表されました。今回はその一部をご紹介します



●スパイラルアップ発表会

画像参照用モニタの 使用時間について



放射線科
ま ま だいすけ
万々 大輔

(目的)2009年5月よりフィルムレス診断となり、X線画像はモニタで観察するようになった。導入された画像閲覧用の高精細モニタは外来に21台・病棟に10台(一台約20万円)存在する。高画質を保持するため、モニタの状態・使用状況の把握・品質管理を行っている。これまでモニタ劣化を抑えるため様々な対策を行ってきた。今回これまでの対策の効果を検証し、今後の課題を検討した。

(結果)2011年より午後9時以降端末は電源を切るようにした。その結果、全ての病棟モニタで使用時間が減少し、対策前は一日平均20.1時間が9.6時間と50%以上使用時間を削減できた。2013年からは一定時間経つとモニタ電源が自動で切れるよう設定した。ほとんどのモニタで使用時間が

減少する効果が得られ、外来モニタでは一日平均6.2時間が5.1時間に、病棟モニタは9.6時間が8.4時間に短縮した。

(考察)端末ごと強制的に電源を切る時間帯を設けたり、こまめな電源OFFの状態を作ることがモニタの使用時間の削減に効果があり、寿命の延長に繋がると考えられる。

今後の課題としては、病棟モニタでは、まだ使用時間削減の余地があると考えられる。画像参照用モニタについて手動で電源をON・OFFしてもらうような運用の検討や、救急室等、時間外にも使用され延べ使用時間が多いモニタでは他のモニタとローテーションして使用することなどが挙げられる。画像参照用モニタの寿命は3万時間から5万時間とされている。院内でも3万時間に近づきつつあるモニタがあり、品質管理が必要である。常に同じ状態でモニタ診断を行える環境を維持し、できるだけ寿命を延ばすことはコスト削減にもつながる。

今後もモニタの品質管理に貢献していく予定である。



モニタの品質管理装置

●医療安全研修会

自己抜針に関する分析と その改善策について



透析室
き だ かよこ
城戸 加代子

近年我が国では、高齢者人口の増加とともに認知症患者が増加している。透析患者のうち、認知症の頻度は9.8%になる。(日本透析学会)

今回透析室で起こったインシデントの中で、生命にかかわる危険率の高い、自己抜針を3回行った認知症患者の事例を分析し、対策に取り組んだ。

原因分析として、①透析導入時より認知症の為、不穏症状がみられ、ナースステーション寄りにベッドを配置したが、壁がある為、死角になっていた。②透析監視装置側と反対側にシャント肢がある為、患者さんの体の上に透析回路が通り、回路に余裕がない状態だった。③自己抜針時は、交代の時間帯でスタッフの人数が少なかった。④他の患者さんの終了アラームが鳴ることによる不穏行動があった。

そこで、改善策として①患者さんの声

が聞きとれる場所にベッドを変え、常にスタッフが声をかけるなど不安の除去に努めた。②透析監視装置側にシャント肢が来るように患者さんの向きを変え、透析回路に余裕が出来るようにした。③常にスタッフの視野に患者さんが入るように工夫した。④穿刺を早めに行う事で、他の患者さんの回収時間と重ならないようにした。

ベッドの向きを変えることで、体の上に回路が通らなくなり回路に余裕を持たせることが出来た。ナースステーションに近い場所にベッドを変えることで、患者さんから常にスタッフが見え、不安感が軽減する。スタッフも患者さんの異変に早く気付く事が出来るようになった。また他の患者さんと回収が重ならないため、不穏行動が軽減し自己抜針を防ぐ事が出来ている。

インシデントを未然に防げるように、個々にあった看護・安全な医療を患者さんに提供出来るように心がけて行きたい。



当院人間ドックの統計より



健診部長
ほりかわ しん
堀川 真

昨年当院人間ドックでは一日、二日ドック、脳健診など合わせ、5千人余が受診されました。約2/3が男性で、50歳代が最も多く次いで40歳代となっています。全体での総合判定はグラフを見て下さい。たぶん驚くと思いますが、**異常なし(A)**、

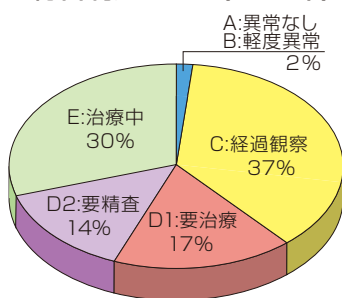
軽度異常(B)の総合判定の人は僅か**2%**で、多くの方は何らかの異常(C～E)が複数個みられます。

<項目別では>

異常ありの頻度が多いのは、**肥満(41%)**、**血圧(27%)**、**コレステロール(36%)**、**中性脂肪(19%)**、**肝機能(26%)**、**糖尿病(38%)**、尿検査胃、腹部エコー検査で、多くが生活習慣病関連

項目です。肝機能の異常は主に脂肪肝です。日本人間ドック学会の全国集計でも肥満、血圧、高脂血症、肝機能、糖尿病の生活習慣病関連5項目の異常が多く、30年前からの集計でこれら5項目は年々悪化傾向が続いています。

総合判定グラフ(H25年)



その理由として食習慣の欧米化や運動不足、社会環境の悪化に伴う生活習慣の乱れ、その他受診者の高齢化、専門学会の基準値の引き下げなどが挙げられます。これらの異常は皆すぐに薬が必要というわけではなく、**食事、運動、飲酒、喫煙、睡眠などの生活習慣改善**で良くなりますので皆さん気をつけて下さい。生活習慣悪化の源に**ストレス**がある人はその対策も必要です。

<がん>

人間ドックはがんの早期発見の場でもあります。昨年は**14例のがん**が見つかっています。全国集計でも400人に一人位の割合で見つかります。がんは胃、大腸、肺が多いですが、男性では前立腺が3番目、女性では乳房が1番目、子宮が4番目に多くみられます。年齢別にみると前立腺がんは50歳以上が99%と高齢者が多く、乳がんは40歳代が多く次いで50歳代60歳以上の順で、子宮がんは年齢が若く50歳未満が64%を占めます。**50歳以上の人は前立腺、乳房は40歳近くから、子宮は全年齢での検診をお勧めします。**



糖尿病センター長からの便り

⑪

糖尿病の患者さんは、 どのタイプが好ましいか?

毎年、日本生産性本部から、その年の新入社員の特徴を表すタイプが発表されているのを知っていますか。今年の新入社員のタイプは「**自動ブレーキ型**」で、知識豊富でリスクを避けて何事も安全運転に心がけるが、高感度センサーを活かしてどんな環境下でも自在に運転できると期待されています。過去のタイプを遡って見ると、「隅々まで効率よく働く**ロボット型掃除機**」「どんな逆境にも耐えて生き抜く**奇跡の一本松型**」「心配させるが長い目で見れば成果を出す**はやぶさ型**」「性急にことを運ぶと入口で失敗する**ETC型**」「節約志向が強いが、使うときは大きく育成する必要がある**エコバック型**」などです。その時代の世情を反映させている言葉の一つと考えると良いのだが、当事者にとってはパワハラとなるでしょう。

しかし、糖尿病の患者さんには将来の合併症を予測して、それを未然に防ぐために慎重かつ安全運転を心がける自動ブレーキ型の療養をしていただきたいと思います。



糖尿病センター長
いしだ しゅん
石田 俊彦

そら豆会定期総会に参加して

平成26年6月8日(日)キナシ大林病院そら豆会「第43回定期総会」が開催されました。風雪賞 透析歴 35年(3名)30年(1名)25年(2名)20年(7名)計13名の方が受賞されました。



透析室の
ま 野間 まゆみ

小橋嵩平先生による講演「透析室でよく聞く言葉～その意味と理由～」がありました。



小橋先生の講演風景

●講演後患者さんからの声

「わかりやすくてリン等に注意、血管が大事だなと思った。初心に帰って勉強になりました」「良くわかって、具体的に知りたかった話を聞くことができた」「患者の立場になった話だった。自分にも思い当たることが沢山あった」等、参加して良かったと言う声を沢山頂くことができました。

食について



栄養科 調理員
たかはし すまこ
高橋 須磨子

ズッキーニ



最近よく見かけるようになったズッキーニ。大型のきゅうりのように見えますが、れっきとした南瓜(ペポカボチャ)の仲間。北米南部からメキシコが原産の西洋カボチャの一つで、別名蔓(つる)なしカボチャとされています。

カリウム・ビタミンC・βカロテンやビタミンB類が豊富で、生食よりも調理をしたほうがおいしさを引き出せます。オリーブオイルをたっぷり使ったラタトゥイユや、カレー、シチュー、ポトフなどの煮込み料理や、塩コショウやガーリック、トウガラシでソテーしたり、てんぷらやフライ、キッシュなど、なんでもおいしいです。



おすすめは、縦に切って中身をくりぬき、くりぬいた中身とハムとトマトと一緒に炒めて元に戻し、チーズをかけて焼くグラタンがおすすめです。

心臓病・腎臓病・糖尿病の教室に参加しませんか？

心臓病 教室	と き	毎月第4金曜日午後1時15分～2時
	ところ	3階会議室
腎臓病 教室	と き	毎月第4土曜日午後1時～2時
	ところ	3階会議室
糖尿病 教室	と き	毎週金曜日(第4金曜日を除く)午後1時20分～2時
	ところ	7階カンファレンス室

※当院では、患者さん向けに各教室を行っています。関心のある方はどなたでもご自由にご参加下さい。

合格おめでとうございます

- | | |
|--------------|--------------------|
| ○医療事務作業補助 | 阿賀 視乃 (医事G) |
| ○超音波検査士(消化器) | 武田 弘美 (検査科) |
| ○超音波検査士(血管) | 田邊 啓介 (検査科) |
| ○超音波検査士(消化器) | 山下 小百合 (検査科) |
| ○ホスピタリティ3級 | 福井 圭子 (検査科) |
| ○糖尿病療養指導士 | 飯間 優 (リハビリテーション科) |
| ○糖尿病療養指導士 | 柿原 稔永 (リハビリテーション科) |

編集後記

梅雨とはいうものの今年も雨が少なく、この号が出るころには毎年恒例となっていた早明浦ダムの取水制限があるかもしれません。夏の水不足が心配です。さらに、今年は原発完全停止による夏の電力不足も心配です。原発停止により原油の輸入も大幅に増加しています。ガソリン代だけでなく、豚肉など各種の値上げが目立ってきています。ビアガーデンも値上げか、同じ値段なら量、質の低下があります。厳しい夏です。熱中症、食中毒、交通事故、健康に気をつけて乗り切りましょう。(K)

声・こえ・Feed back・フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋して記載します。
(期間:平成26年4月～6月)

Q 骨折で入院した時、主治医の先生が内科的要素や生活面などあらゆる角度からの診療・治療をしていただきありがとうございました。

A ありがとうございます。これからも患者さんが安心して療養できるよう、より一層努力してまいります。

Q 食事が薄味でとてもおいしく、また御飯の柔らかさもちょうど良かったです。また、病室からの眺めはともきれいで心を癒してくれました。先生方や看護師さんたち病院のたくさんの方々のおかげで無事退院することができ、本当にありがとうございました。これからは通院して、早く元のように歩けるように頑張っていきます。

A ありがとうございます。これからも患者さんが少しでも安心して療養していただけるようスタッフ一同努力してまいります。

Q 西側の駐車場の車いすの雨除け設置ありがとうございます。できれば、南側の通路も雨除けを設置してくださるか、西側に障がい者用の駐車場を増やしてもらえないでしょうか。

A ご意見ありがとうございます。南側の駐車場に雨除けの設置は、場所等の問題により現在は設置する予定はなく、検討課題とさせていただきます。又、西側に障がい者用駐車場を増やすよう検討いたします。

Q ベテランの看護師さんが態度が大きいと思う。初心にかえって頑張ってください。

A 申し訳ありません。基本的な対応ができていませんでした。これからは、このようなことがないように、スタッフ教育を徹底してまいります。

研修医紹介



研修医
ひろしま りか
廣島 里香

7月からキナシ大林病院で勤務させていただきますことになりました、研修医2年目です。まだまだ未熟者ですが、上級医の先生方をはじめ、コメディカルのスタッフの方たちの助けを頂きながら、たくさんの患者さんと接していきたいと思っています。病棟以外にも、外来や人間ドック、透析室など色々な場所に顔を出させて頂いているので、何か困ったことがありましたら、気軽に声をかけてください。3カ月という短い期間ではございますが、よろしくお願い致します。

診 療 実 績			
H26年	3月	4月	5月
外来患者数	13,398 人	12,928 人	13,657 人
新入院患者数	171 人	178 人	159 人
退院患者数	183 人	183 人	157 人
地域医療支援病院紹介率	26.0 %	25.7 %	21.4 %
救急車搬入件数	28 件	28 件	23 件
救急車搬入後の入院数	11 人	15 人	9 人
手術件数	55 件	58 件	61 件

薬研を読んでの感想・ご意見・今後取り上げて欲しいこと・質問などありましたら、yagenchan@obayashihp.or.jpへ。

医療法人財団博仁会
キナシ大林病院

〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井435-1
TEL087-881-3631(代表)FAX087-881-3867
地域連携室 TEL087-881-3676(直通)FAX087-882-3539
人間ドック TEL087-881-3218(直通)FAX087-881-8020